

| | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 講義名称 | 卒業研究Ⅱ | 担当教員名 | 高山 有紀 |
| 科目群 | 必修 | | |
| 科目区分等 | | 単 位 | 2 |
| 対象学年次 | 2年・秋学期 | ナンバリング | |

| | | | |
|---------------------|---|---|--|
| 授業のキーワード | 教育史、子どもと社会、日本文化 | | |
| 授業の概要 | 教育および子どもの歴史を概観するとともに、現代の子どもを取り巻くさまざまな問題について学びます。各自がゼミ論文を書き上げます。 | | |
| 期待される学習成果（目標） | 1、教育および子どもの歴史について知ることで、日本社会や文化の特質について自分なりの理解をすることができます。 2、ゼミ論文を準備し書き上げることで、自身の意見をしっかりと示すことができます。 | | |
| 授業展開 | | | |
| 回 | テーマ | 内 容 | |
| 1 | オリエンテーション | 授業の進め方について説明します。 | |
| 2 | 報告 | 夏休み中に行った作業をふまえ、ゼミ論文に関する報告を行います。 | |
| 3 | 報告 | 夏休み中に行った作業をふまえ、ゼミ論文に関する報告を行います。 | |
| 4 | 報告 | 夏休み中に行った作業をふまえ、ゼミ論文に関する報告を行います。 | |
| 5 | ゼミ論文の書き方 | 本格的な執筆に向けて、担当者が模擬報告を行います。必要に応じ、先輩のゼミ論文を輪読します。 | |
| 6 | 報告 | ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。 | |
| 7 | 報告 | ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。 | |
| 8 | 報告 | ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。 | |
| 9 | 報告 | ゼミ論文に関する報告を行います。質疑応答。 | |
| 10 | 個別指導 | ゼミ論文の個別指導を行います。必要に応じ、履修者同士で情報交換を行います。 | |
| 11 | 個別指導 | ゼミ論文の個別指導を行います。必要に応じ、履修者同士で情報交換を行います。 | |
| 12 | 個別指導 | ゼミ論文の個別指導を行います。必要に応じ、履修者同士で情報交換を行います。 | |
| 13 | 個別指導 | ゼミ論文の個別指導を行います。必要に応じ、履修者同士で情報交換を行います。 | |
| 14 | 個別指導 | ゼミ論文の個別指導を行います。必要に応じ、履修者同士で情報交換を行います。 | |
| 15 | まとめ | ゼミ論文を提出します。本講での学習内容を総括します。 | |
| 定 期 試 験 | ゼミ論文の提出を受け、その内容と努力の度合いにより評価します。 | | |
| 評 価 方 法 | 授業への取り組み（30パーセント）、課題に対する評価（70パーセント）により総合的に評価します。 | | |
| 使用する教科書（必ず購入してください） | | | |
| 参 考 文 献 | 佐藤環『日本の教育史』現場と結ぶ教職シリーズ2（あいり出版） 小山静子『子どもたちの近代 一家庭教育と学校教育一』（吉川弘文館） 辻本雅史・沖田行司編『教育社会史』新体系日本史16（山川出版社） | | |